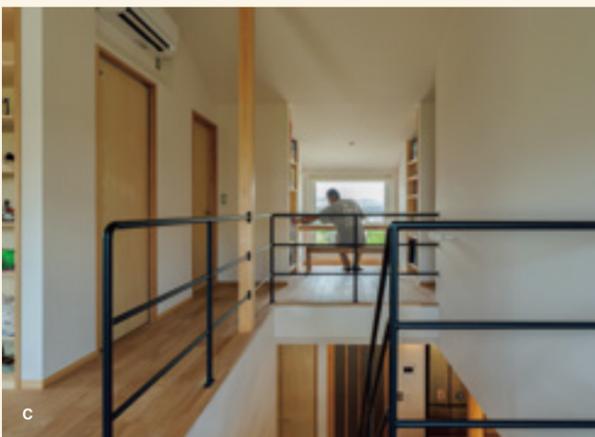


自ら建てて、暮らす
大工さんの家

大工はどんなマイホームを
建てるのでしょうか。
つくり手と施主。
両者の立場から
家づくりを振り返りました。



A スギ板張りのシックな外観に、雑木の庭が映える。「夏は庭に出て、雑木や野菜の世話をすることが増えました」と、廣瀬さん。今年は、トマトやオクラなどの夏野菜を育てたそう。 **B** 休日は、庭で気ままに遊ぶ。お子さんたちとの穏やかな時間が、奥様の癒やしになっている。 **C** 2階は回遊できるオープンな空間。将来の勉強部屋を想定したスタディコーナーなど、みんなの居場所をあちこちに設けた。



耐震性も断熱性も
最高等級を実現した
「まんなかの家」

この家に暮らすのは、「しなのいえ工房」の社員大工である廣瀬さんご一家。廣瀬さんが自ら工事に携わってつくり上げた「大工の自邸」です。

廣瀬さんが求めたのは、地震に強い家。万が一の時は、離れて暮らす親御さんが避難できる安全な場所にしたかったといいます。同社の標準は耐震等級3。地震に強い家にするために付加したのは、家の揺れを吸収する「制震ダンパー」と呼ばれる装置。耐震等級3でも、複数回の揺れとなるとどうでしょう。連続で大きな地震に見舞われた熊本では、2度目の揺れで多くの家屋が倒壊しました。「家はなるべく揺らさない方がいい」という大工の経験則を、家づくりに生かしました。

つくり手ではなく、住まい手の視点で考えたのは奥様。「ど

こにいても、子どもたちの様子が分かる家にした」という希望から、吹き抜け階段を軸として、家族の居場所を家の中心に集めた「まんなかの家」に。「キッチンから、リビングや2階のプレイルーム、庭のデッキまで見渡せるんですよ。いつでも目が届くって、本当に安心だと実感しています」

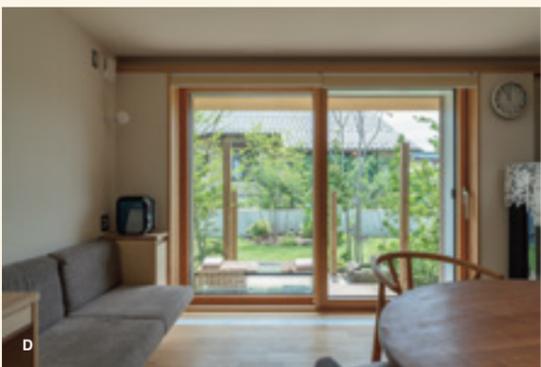
自社の品質には信頼を置いていたものの、不安だったのは資金面。人生のお金の動きを俯瞰する同社の「ライフプランシミュレーション」を行い、「家にどれだけお金を掛けられるか、見通しが立ちました」。家の性能によって差が出るランニングコストもふまえ、ベストな資金計画を導き出しました。

以前の暮らしと違うのは「冬の暖かさ！」と、声を揃えるご夫婦。それもそのはず、廣瀬邸は同社初となる断熱等級7の性能を備えています。冷え込む11月下旬でも、日中は暖房いらず。家の中に取り込まれる太陽光で自然と暖まります。「前は自分の家よりも、現場の方が暖かかった（笑）。でも今は、帰宅するたび暖かさに感動します」という廣瀬さんだけでなく、家族にも変化が。お子さんたちは年

中薄着で、夜は掛布団を嫌がるほど。水槽に泳ぐ魚たちも、水温が安定した環境下で、冬でも元気いっぱいです。

つくり手であると同時に、施主になった廣瀬さん。暮らしてみても「ああ、こういうことだったんだ！」と、緻密な設計に改めて納得したそうです。「丁寧に對話して、施主の思いを反映させる。当社の誠実な家づくりを、身をもって感じる経験でした」

D キッチンに立つと、窓を介して庭を一望。「鳥が来る庭にしたい」と、実がなる木をたくさん植えたそう。





K 草木や山々を感じる環境で、お子さんたちの外遊びが充実。「家も広くなったので、今はかくれんぼに夢中です」 **L** 一つ目のような窓や玄関周りの植栽など、家の真ん中に視線を集める外観デザイン。右手には、仕事道具や趣味道具を収納する倉庫を。

「しなのいえ工房」の家は、
 どのところが魅力ですか？
 廣瀬さん 当社の場合、現場の職人もお施主様と距離が近く、よく話をします。そこで拾ったお声は社内でも共有され、設計に反映されることもあるんですよ。各部門が連携して、お施主様の思いに寄り添った家づくりをしているところが魅力です。

「施工面でのこだわりは？」
 廣瀬さん ただ設計とおりにつくるとは、設計者の意図を理解した上で施工します。例えば「断熱性や耐震性を高めるため」というように、私たちがやっていることには必ず意味があるので、それを意識してつくっていますね。現場から設計に「こうしたら、もっとよくなるよ」という意見が上がることもあります。

「大工さんたちは、どんな思いで家をつくっていますか？」
 廣瀬さん 家は一生に一度の買い物です。だからこそ、つくる過程も幸せな思い出にしてほしいですし、丁寧に家をつくって喜んでいただきたい。それが当社の大工の共通した願いです。

廣瀬さんご自身に聞いた
 つくり手として伝えたいこと

PLAN



DATA

敷地面積	272.29㎡ (82.20坪)	工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:ヒノキ3.5寸角、梁:カラマツ、土台:ヒノキ 断熱材/天井:吹き込み用グラスウール400mm、壁:高性能グラスウール105mm+高性能グラスウール195mm、床:高性能グラスウール105mm+高性能グラスウール90mm
延床面積	116.75㎡ (35.25坪)	
1F面積	59.62㎡ (18.00坪)	
2F面積	57.13㎡ (17.25坪)	

主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板立平葺き、外壁:スギ(目地なし)縦張り+ノンロット塗装仕上げ 主な内装仕上げ/天井:塗装仕上げ、壁:塗装仕上げ、床:タモ無垢材 開口部/木製サッシ:スマートウィン、樹脂サッシ:トリプルシャノン キッチン/トクラス Bb キッチン熱源/IHクッキングヒーター-バスルーム/トクラス every 暖房の種類/エアコン・パネルヒーター C値/0.28 UA値/0.19



shinanoie.com



E 「料理のお手伝いが大好き」という二人の娘さんたちと並んでも、ゆとりのキッチン。玄関からパントリーを抜けてキッチンに入れる回遊動線で、買い物の片付けもスムーズに。 **F** キッチン棚や造り付けのベンチ、テーブルの天板といった家具は、すべて手づくり。大工の廣瀬さんが本領を発揮した。リビングの隣には、親御さんとの同居を想定した個室を配置。そこから、直接水周りにアクセスできる動線が、2世帯の快適な暮らしを導く。 **G** 2階から見下ろすリビング。囲らんの食卓や階段を介して届く光や風など、家の真ん中に“いいもの”を集めた。 **H** 南向きの窓に面した2階のプレイルームは、誰でも使える自由な空間。「こもりっきりになるのが嫌で、あえて個室にしませんでした」 **I・J** のびのびとした環境で子育てをしたいと、長野市から小布施町へ。採れたての野菜を味わう日々の暮らしが、お子さんたちの健やかな成長を育む。

